

OASIS の風

-hear your heart-

ナーシングホーム OASIS 志賀公園

R4年 7月号



入居者様の声

**M 様 : 80 代男性 : パーキンソン病 : ナーシングホーム OASIS 志賀公園入居中
文字盤・筆談・ジェスチャー使用中**

ご家族様に M 様の事をお聞きすると「昔から子供の事が大好きで家族みんな仲良しです。」とお話してくださいました。M 様の居室の壁には奥様、娘様、お孫様の写真がたくさん飾ってあり、面会時はみんなニコニコされ、天気と体調が良ければ近くの公園に車椅子で散歩に出掛けられています。

M 様には構音障害があり、言葉が聞き取り辛い時には、ご家族様やスタッフと文字盤の指差し・ジェスチャー(お腹すいた、トイレ、外に行きたい等)・筆談にてコミュニケーションをとっています。写真は実際に使用されている、ご家族様お手製の文字盤です。

コミュニケーションについて M 様に困っている事をお聞きすると、手を口の前でパクパクさせ「声が出なくて困っている。」と伝えてくださいました。言葉で伝える事が出来ないことに関してご家族様も「言葉で話してくれるが聞き取れないことがあるため、言葉で理解してあげたい。」と仰っておられました。

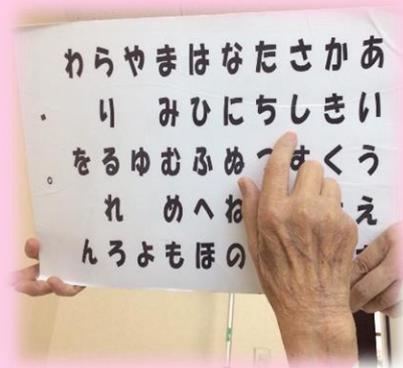
奥様にコミュニケーションツールについてお聞きしたところ、

「前に役所などで開かれた勉強会に参加したことがあり、キーボードを押すと声が出るものなどを体験してとても勉強になりました。他にも視線入力などのツールも知りたいと思います。」と、とても嬉しそうに話してくださいました。

M 様にも今後 PC 等のコミュニケーションツールを使用してみたいかお聞きすると、うんと頷かれました。

他の入居者様・ご家族様にも、M 様とご家族様のようにコミュニケーションツールについて興味を持っていただけるよう、一緒に学ぶ機会を作っていきたいと思いました。

(文章 : ケアコール志賀 堀江・松川)



スタッフの声

M さん : 訪問介護士 : ケアコール志賀 : 3 年 10 か月

OASIS 志賀公園に入職し、訪問介護という業種に初めて携わる事になり、難病の方やガン末期の方、呼吸器をつけた方のケアをさせていただく事も初めてでした。コミュニケーションを取ることが難しい方のケアをさせて頂く時の意思疎通の難しさを感じました。いろいろなコミュニケーション支援ツールがある中、病状に合わせたツールを使って頂き、入居者様との信頼関係がツールによって少しでも縮まればと思います。

安心して生活して頂けるようチーム医療を行う一環として、多職種の方たちと連携・相談し、入居者様により良い支援をしていきたいと思っています。

トピックス

『難病と在宅ケア』月刊誌に掲載決定！

第 26 回日本難病看護学会学術集会 (2021 年 7 月) にて発表させていただいた、弊社コミュニケーション支援プロジェクトの取り組み紹介について、「難病と在宅ケア」という月刊誌に特集で取り上げていただく事となりました。

R4 年 7 月号に掲載予定です。

